

あばしり電力の取り組みが 北海道の「新エネルギー設備導入支援事業」に認定

日本ガイシ株式会社、網走市、あばしり電力株式会社の三者により組成された「あばしり新エネルギー設備導入推進コンソーシアム」の「あばしり電力株式会社 太陽光発電所設置事業」がこのほど、北海道の2023年度「新エネルギー設備導入支援事業」に認定されました。

あばしり電力は、網走市と日本ガイシが出資する地域新電力会社です。北海道が実施する「新エネルギー設備導入支援事業」は、持続可能な地域づくりに資する新エネルギー設備の導入に対し補助金を交付するものです。

あばしり電力は昨年度、北海道の「ゼロカーボン・ビレッジ構築支援事業費補助金」を活用し、網走市潮見地区に太陽光発電設備と電力貯蔵用NAS[®]電池を設置し、自前の送電線（自営線）で潮見小学校と潮見コミュニティセンターを連系しました。通常時は再生可能エネルギーを両施設へ供給し、停電時には緊急避難場所である両施設を商用系統から切り離し、非常時のバックアップ電源として活用する事業を実施しています。

今年度は、新たにこの「新エネルギー設備導入支援事業費補助金」を活用し、網走市の3つの地域（つくしヶ丘、向陽ヶ丘、大曲）へ太陽光発電設備を設置し、発電した電力を市の公共施設などに供給する事業を行います。本事業を通じ、再生可能エネルギーの利用拡大やエネルギーの地産地消を推進します。

本事業の認定により、再生可能エネルギーの最大限の活用による地域の持続的なエネルギー供給とカーボンニュートラルを進展させ、北海道が掲げる2050年「ゼロカーボン北海道」の実現に向け引き続き貢献してまいります。

- あばしり電力株式会社：
<https://www.abaden.jp>
- カーボンニュートラルの実現に向けた「あばしり電力」の設立について：
https://www.ngk.co.jp/news/2022/20220420_2.pdf
- あばしり電力の取り組みが北海道のゼロカーボン・ビレッジ構築支援事業に認定：
https://www.ngk.co.jp/news/20221104_1.html